

箱根駅伝出場 城西大、大東大を支援

熊谷松田芳和さん 選手に寄り添い治療

熊谷松田芳和さん 整形外科院長

今回で100回の節目を迎える箱根駅伝。東京箱根間往復大学駅伝(来年1月2、3日)に出場する城西大(練馬区)、坂戸市と大東文化大(同・東松山市)をメディア・カルサポートする医師がいる。熊谷市弥藤吾のまつた整形外科クリニック理事長・院長の松田芳和さん(58)だ。スポーツ医学に精通し、各種競技アスリートの成長を下さしている。「選手に寄り添った治療」の大切さを強調し、「前置を上回る好成績を」と、大学の晴れ舞台での活躍を羨しみにしている。

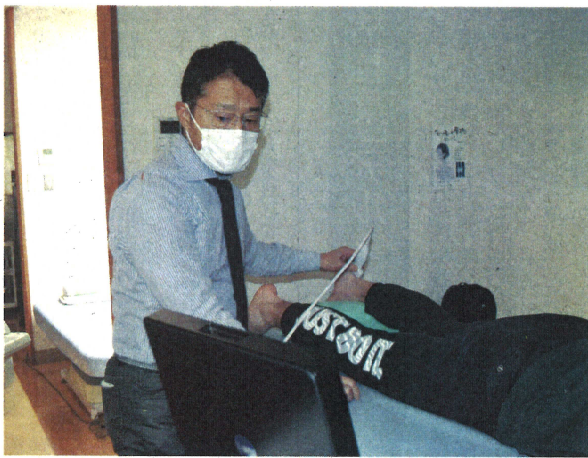
城西大は2020年から、大東文化大は2021年から、大東文化大は2022年から医療サポートする。できるほか、治療期間を短縮でき選手の健康増進や身体能力向上の最先端の再生医療を行っている上で、スポーツ医学の知見は欠かさない。松田院長は「同大学の監督もスポーツ医学の重要性をよにけがが出ないよう体の状態を深く理解してくれている。選手へのエックシ、予防的なケアを行う。けがや痛みを訴える連絡が入れば、けがした場合の治療は選手と相談できる(けが)を診れるようにして」と話す。

陸上選手へのけがは走り過ぎで、股やコチと情報共有して、で肢に負担がかかる疲労骨折が多。適切な助言をして「くれる」と話。松田院長は野球のBCリーグで



松田芳和院長

監督やコチと情報共有して、で肢に負担がかかる疲労骨折が多。適切な助言をして「くれる」と話。松田院長は野球のBCリーグで



アスリートと対話しながら治療に当たる松田芳和院長
＝熊谷市のまつた整形外科クリニック

初優勝した埼玉武蔵ヒートベアーズや熊谷高フジビード部のチームドクターを担当。今年8月のワールドトライアスロンカップで初優勝し、来夏のパリ五輪出場を目指す熊谷高出の後輩、北條巧選手(北本市出身)もサポートする。「若(アスリート)は故障しても、痛いと(う)とレシエニールから外されると思ひ、ついつい無理をしてけがを悪化させてしまつ。選手と指導者、医療の3者情報共有して、けがをしたら、みんながよい治療法を考えるのがベスト」と指摘する。

「白バイ」走行生徒が歓声 深谷上葉小 冬休みを前に児童の交通安全事故を防止しようと、交通機動隊と深谷署は16日、深谷市立上葉小(上葉)に出向き、同校5年生を対象に交通安全の指導を実施した。

「白バイ」走行生徒が歓声 深谷上葉小 児童は深谷署から自転車に乗る時、特に重要なルール「自転車安全利用五則」について学んだ後、交通機動隊の白バイ(走行)を見学。迫力ある走りを目の前に「かっこいいの相見協力の推進に関する協定締結した。両大学で探求学習などを共同実施し、国際ミニニゲーション能力の強化を目指す。

女子大は今後、スタンフォードで行う言語やプログラムに、参加する予定(福島悠太)



和光市 東京五輪自転車「銀」

尾原さん心愛大吏(和光市) 尾原市長心から在任中を支援(和光市) 尾原市長心から在任中を支援(和光市)

尾の女子オムニアムで銀メダルを獲得。28年6月のアジア選手権では「オムニアム」や「マディソン」など4冠を達成している。市は「この経歴や実績を評価し、地域貢献や子どもたちの夢を育んでもらおう」と

台湾の実践大と教育・研究協定 十文字学園女子大 協定を締結した十文字学園女子大(和光市)は19日、台湾の実践大学と教育交流の基盤拡大を目的に、教育・研究分野にお

協定を締結した十文字学園女子大(和光市)は19日、台湾の実践大学と教育交流の基盤拡大を目的に、教育・研究分野にお

協定を締結した十文字学園女子大(和光市)は19日、台湾の実践大学と教育交流の基盤拡大を目的に、教育・研究分野にお

令和5年12月22日の埼玉新聞に城西大学、大東文化大学の駅伝部をサポートしている取り組みが紹介されました。

協定を締結した十文字学園女子大(和光市)は19日、台湾の実践大学と教育交流の基盤拡大を目的に、教育・研究分野にお

純米酒 令和5 搾りたて

秋山君が代表に スト8に入 秋山君は、大砂主初級師範 試験にチャ、室で幼稚園年中から暮を始め、県選参加、現在、指扇開きサロ、小林さん、ど大人たちと交じって腕を、新宿でも磨いている。今夏の少年少女大会の県代表。夏のもの一人の代表で、全国大会へ

第13回くらしき吉備真備 高学年の部優勝 秋山 隼人 (さいたま市) 小林 波月 (蕨市立) 6月13日(土) (解説 福岡修二)

【第2譜 46~102】